

「全麵協通信 2号」を発行しました！

はじめに

新型コロナウイルスが感染再拡大して、全麵協会員・個人会員は直接会っての「情報交換」が出来難い状況下にあります。本部と支部の広報渉外担当者は、「テレビ会議」で打ち合わせを行って、本部・支部の状況などを話し合っています。広報渉外部はこの時にこそ、会員の「目と耳」の役割を担って広報に努め、会員と全麵協本部・支部とをつなぐ「情報交流」の支援に努めます。

「全麵協通信 2号」の内容

①With コロナでの「ガイドライン」について完成

コロナ禍の中、段位認定部は“絶対にクラスターを起こさない”との認識で、全国認定会専門チームに協力を仰いで、1)そば道段位認定会 2)講習会・研修会 を開催・運営するための拠りどころにするため、実効的で社会的な評価にも耐えうる「ガイドライン」の作成に取り組みました。

完成した「ガイドライン」は、第2回理事会(7月16日)にて承認されました。ここでは、「ガイドライン」の概要を説明しています。



②ガイドラインの目的と位置づけ

私たち全麵協が、With コロナの状況下で「そば道段位認定会」や「講習会・研修会」等の事業を実施するには、社会的に適切と評価される感染予防策の徹底と、不測の事態に備えた情報管理が必要です。With コロナの状況下で、「そば道段位認定会」や「講習会・研修会」等の事業開催を検討する場合には、必要不可欠な対策を「ガイドライン」として提示することとしたことなどについて説明しています。

③コラム記事(「全国高校そば打ち大会」について)

全麵協の友好団体である「日麵連」は、毎年8月に「全国高校生そば打ち選手権大会」を主催しています。今年は10回目の大会でしたが、残念なことに新型コロナ感染防止のため中止されました。しかし、日麵連に事前の連絡もないまま、日本そば文化学院(群馬県)が「全国高校そば打ち大会」を8月に開催すると報道機関に発表し、高校へも開催案内を送付しています。当大会は全麵協も日麵連も無関係であることを説明しています。

「全麵協通信」について

「全麵協通信」はA4版の新聞で、原則として月に1回発刊し、伝えたい情報が多い時は複数回発行します。配信方法は本部から支部へとメール送信します。支部は支部管内の全麵協会員に「メールまたは郵送」し、受けた全麵協会員(団体)は所属する個人会員にメール送信、またはプリントアウトして渡すなど、一人一人に確実に届くように配布の協力を仰ぐこととします。「全麵協通信」はコロナ禍中における、緊急的な情報伝達ツールと考えています。また、全麵協ホームページにも掲載して、ダウンロードできるようにしています。

(執筆者:広報渉外部・谷端)

全麵協本部では、「With コロナ」に対応するための活動準備を着々と進めています。今後もその取り組みを、「ホームページ」「全麵協通信」を通じて皆様にお伝えします！